

# 研究実施のお知らせ

2025 年 11 月 12 日 ver.1.0

## 研究課題名

臨床検査技師による先天性心疾患患者の心臓超音波検査に関する研究

## 研究の対象となる方

2024 年 12 月から 2025 年 12 月の間に島根大学医学部附属病院で臨床検査技師による心臓超音波検査を受けられた先天性心疾患の患者様

## 研究の目的・意義

医療の進歩により先天性心疾患患者の 90%以上が成人期に到達しています。成人先天性心疾患患者の診療体制の整備は喫緊の課題で、特に検査を担当する臨床検査技師の専門的育成は不可欠です。当院では臨床検査技師による心臓超音波検査実施への移行を進めていますが、臨床検査技師による心臓超音波検査の適正は明らかになっていません。本研究では、先天性心疾患患者における臨床検査技師による心臓超音波検査の適正を評価し、移行に伴う課題を明らかにすることを目的としています。これにより、心臓超音波検査の臨床検査技師移行が妥当か、改善が必要かを判断できるようになります。

## 研究の方法

診療録から、当院で小児科医および臨床検査技師が実施した心臓超音波検査の検査所見、検査と同時期に実施した心臓 MRI の検査所見（項目は以下の通り）を取得し、比較することで、臨床検査技師による心臓超音波検査の適正を評価します。検査所見は診療で得られた既存の情報のみを用い、新たに情報を取得することはありません。また個人情報、氏名、患者 ID、連絡先等を削除した上で取り扱います。

## 収集する情報の項目

- 1) 臨床的基本情報（性別、年齢、検査実施時身長・体重、診断名、手術関連情報（手術実施年月日、手術実施時年齢、術式））
- 2) 小児科医および臨床検査技師が実施した心臓超音波検査の実施年月日、検査時間および所見（左室拡張末期径（係数）、左室収縮末期径、左室内径短縮率、左室拡張末期容積（係数）、左室駆出率、僧帽弁流入血流速度、右室拡張末期面積（係数）、右室面積変化率、三尖弁収縮期移動距離、三尖弁逆流圧較差、経大動脈弁血流速度、経肺動脈弁血流速度、組織ドプラ指標（収

縮期頂値、拡張早期頂値、心房収縮期頂値)、Myocardial Performance Index、房室弁・半月弁閉鎖不全の定性評価)

- 3) 臨床検査技師が実施した心臓超音波検査の実施年月日の直近に実施された心臓 MRI による左室拡張末期容積 (係数)、左室収縮末期容積、左室収縮率、右室拡張末期容積 (係数)、右室収縮末期容積、右室収縮率

## 研究の期間

2026 年 2 月 2 日～2027 年 3 月

## 研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。

## 研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：安田 謙二

島根大学医学部附属病院 医療的ケア児支援センター

## 情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026 年 6 月までにお願いたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

## 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：安田 謙二

島根大学医学部附属病院 医療的ケア児支援センター 准教授

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2219 FAX 0853-20-2215